

# 松山「俳句甲子園」(ことばのちからイベント事業) ～高校生にしか語れない俳句がある～



第24回 最優秀句  
「ウミユリの化石洗ひぬ山清水」

岡山県立岡山朝日高等学校 辻 颯太郎

毎年8月、全国各地から俳句という文学を介して高校生たちが俳都松山に集い、熱いことばのバトルを繰り広げます。

<五・七・五>という17音に若い感性が凝縮された「ことば」を介して、高校生相互の文化的交流、さらには大会に関わる異世代との社会的交流を深め、豊かな人間性を育むことを目的に開催しています。

| 開催年   | エントリーチーム数 | 優勝校             |
|-------|-----------|-----------------|
| 平成29年 | 159       | 開成高等学校（東京都）     |
| 平成30年 | 143       | 山口県立徳山高等学校（山口県） |
| 令和元年  | 120       | 青森県立弘前高等学校（青森県） |
| 令和2年  | 82        | 開成高等学校 A（東京都）   |
| 令和3年  | 116       | 開成高等学校 B（東京都）   |

## だから、ことば大募集 (ことばのちからイベント事業)

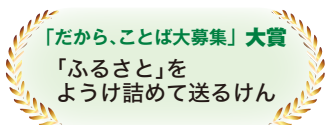
松山市は、正岡子規をはじめとする先人たちが残してくれた豊かな文学的土壌を大切に受け継ぎ、「ことば文化」をいかしながらまちづくりを進めています。

2000年、2010年に続き、2020年に10年ぶりに「想（おもい）」をテーマに「だから、ことば大募集」を行い、22,440点の作品が寄せられました。

寄せられた「ことば」は松山の宝として、「街はことばのミュージアム」と題し、路面電車や空港などに展示しています。ことばの魅力で街を彩り、松山を訪れた人や市民に笑顔を届けます。



松山城リフト下



路面電車

## 響け!!言霊“ことばのがっしょう” 群読コンクール(ことばのちからイベント事業)

小学生から大学生・専門学校生までを対象に群読（複数人数による朗読）のコンクールを実施、令和2年度は222名の参加がありました。「ことばを大切にする松山」で、ことばを合わせて心をつつすることで、「ことばのちから」を育むことを目的としています。

